

場面	表示テロップ
	主なナレーション等
警備室	キーストラップ又は鍵ひもに結着する 鍵は紛失しないよう、しっかりとキーストラップや鍵ひもに取り付け…（次の映像へ）
	鍵ケースに収納する 鍵ケースに収納します。
入室前	ドア越しに内部の様子を窺う ドアを解錠する際には、まず、しばらく内部の様子を窺い、異常の有無を確認します。
	ドアノブを回して、施錠されていることを確認する 異常がなければ、次に、ドアノブを回して施錠されていることを確認し、その後、静かに解錠します。
入室時	内部が安全か警戒しながら入室する 入室時には、不用意に中に入らず、警戒心を強め、見える範囲内で上下左右の安全を少しずつ確認しながら入ります。
入室後	施錠後にドアノブを回して施錠されたことを確認する 入室後は、周囲の警戒を行った後、外部からの侵入を防ぐため、速やかに内側から施錠し、ドアノブを回して施錠されていることを確認します。
室内	足元に注意しながら進む 室内には色々な物が置かれています。歩行の際の受傷事故を防止するためにも、足元の障害物に注意して進みます。
会議室	外部からの侵入の有無を点検する 未施錠の窓があった場合には、外部からの侵入形跡や破損等の有無を点検し、確実に施錠します。
喫煙室	未処理の吸い殻がある場合には、所定の吸い殻収集缶に入れて確実に処理する 未処理の吸い殻がある場合には、所定の吸い殻収集缶に確実に処理します。
給湯室	ガスの元栓の閉め忘れや水道の蛇口の閉め忘れなどを点検する ガスの元栓の閉め忘れや水道の蛇口の閉め忘れなどを点検します。
退室前	室内から外部の様子を窺う 退室する際にも入室時同様、まず室内から外部の様子を窺い…（次の映像へ）
退室後	施錠後にドアノブを回して施錠されたことを確認する 周囲の安全確認をした後に施錠し、ドアノブを回して確実に施錠されたことを確認します。
防火扉	物が置かれていないかを点検し、放置された物件は撤去する 防火扉は、火災が発生した際に人々が避難するための階段を煙や炎から守るとともに、上層階への煙の拡散を防ぐ役割があります。火災発生時に正しく機能するよう、防火扉付近に物件が放置されていないかを確実に点検します。

消火設備	外観上の点検をする
	消火栓や消火器など各種消火設備についても、損傷の有無や正しく設置されているかなどを確認します。
トイレ	ドア越しに内部の様子を窺う
	トイレは賊が潜伏しやすく、いわゆる「入り待ち」には格好の場所です。ドアを開ける前に内部の様子を窺い、不用意に踏み込むことなく、上下左右の安全を確認しながら入ります。
階段	個室や用具入れなどの中まで点検する
	個室や用具入れなどは、賊の潜伏のみならず、不審物が置かれやすい場所なので、細部にわたり異常の有無を点検します。
階段	上階から下階を覗き込む
	階段を下りるときには、見える範囲内で下の階の安全を確認した後…（次の映像へ）
階段	左壁側を歩行する
	賊からの襲撃に備え、中央手すりから離れて壁際を進み、周囲の安全を確認しながら静かに下りていきます。
エレベータ ホール	安全な間合いをとって対応する
	不審者と対峙した場合には、安全上昼間は3歩、夜間なら6歩の間合いをとり…（次の映像へ）
	名刺や社員証などで相手の身分を確認する
	「本日、未来商事さんの残業届は出ていませんが、恐れ入りますが、社員証はお持ちですか。」
玄関ホール	事前に残業届を提出するよう依頼する
	「今後、残業されるときは、事前に警備室へ残業届の提出をお願いします。」
玄関ホール	不審な物が置かれていないかを点検する
	ホールの受付カウンターや植木鉢の陰にも不審な物が置かれていないかを点検します。
外周	曲がり角では大きく回る
	曲がり角では行く先の気配を窺い、大きく回ります。
不審車両	色、型式、ナンバーなどの特徴を記録しておく
	車両のナンバーや特徴をメモしておきます。
泥酔者	丁寧な対応で退去要請を行う
	泥酔者を発見した場合には、無要なトラブルにならないよう丁寧に声を掛け、その場から立ち去ってもらうように要請します。
脚立	周囲の異常の有無を確認し撤去する
	侵入の足掛かりになるような不審な梯子や脚立を見付けた場合は、その周囲の異常の有無を確認し、その物を撤去しておきます。
不審物	警戒しながら中を確認し、ごみは撤去する
	不審物を発見した場合は、不用意に触れず、五感を働かせて注意深く対処します。